



ソフトウェア開発の改善に 先端的ツール、手法を活用する方法

富士機械製造株式会社

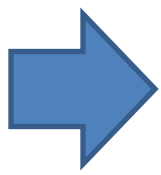
早川 昌志

ms.hayakawa @ fuji.co.jp

開発における問題点

大規模化、複雑化するソフトウェア開発では、課題に適したツール、手法を取り入れて品質などの改善を行いたいニーズがある。

しかし、ツール、手法がどんなに優れていても、これを使って開発を行うための実践的な経験を持った技術者が居ないまま導入するだけでは、開発に混乱をもたらすだけになってしまう。



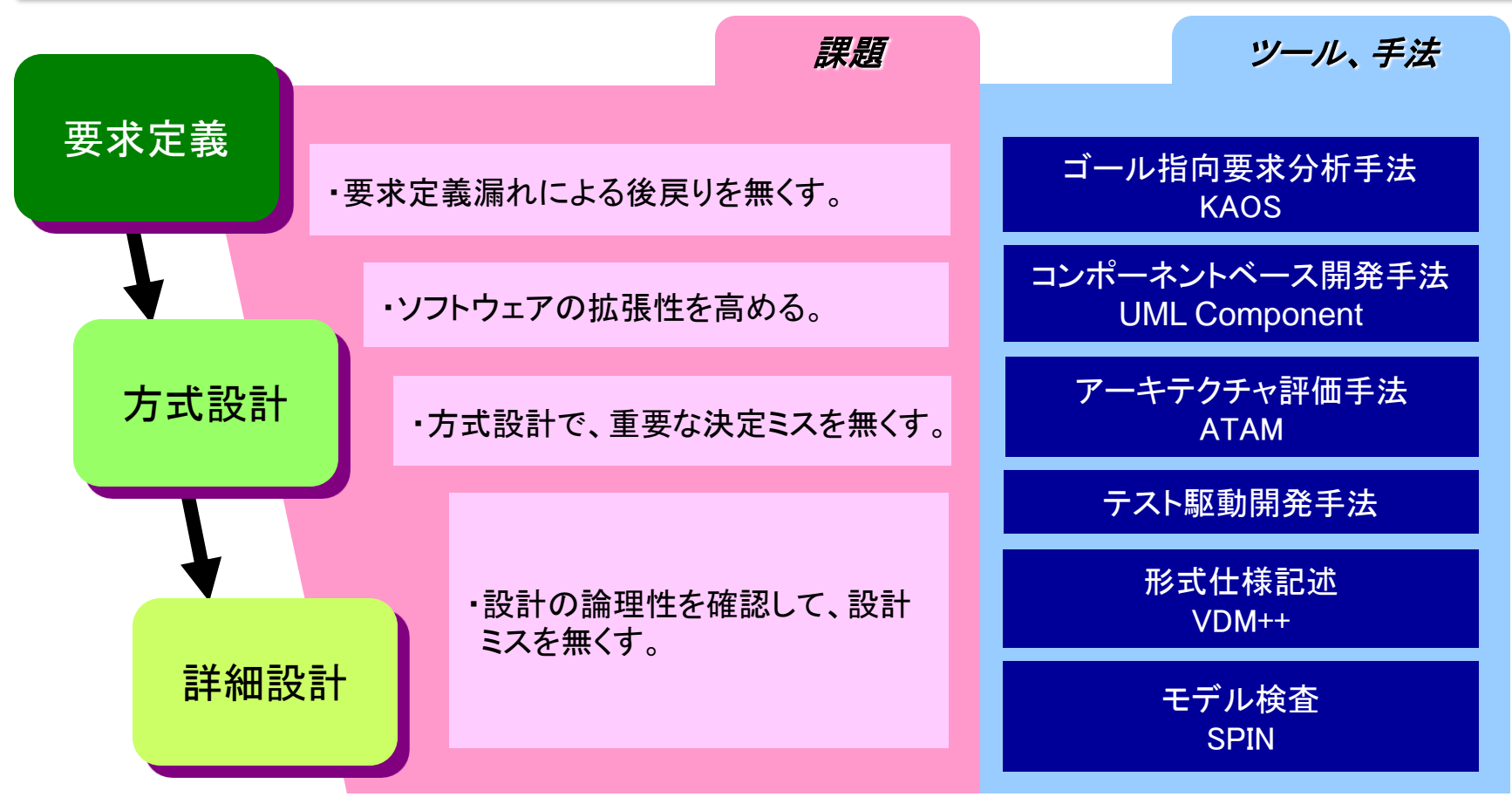
解決方法

ツール、手法を課題に合わせて段階的に活用し、必要な改善ができるようにプロセス化を行った。

しかしながら、ツール、手法を活用するためには、実践的な経験が不可欠と言える。

そのため、実習型教育プログラムを作成し、技術者の育成も行うことで、開発で期待する改善効果を得ることができるようにした。

実習課題と解決のために適応したツール、手法



実習カリキュラム

Day	工程	主要なアクティビティ	時間(h)
1	要求定義	ゴール指向による要求分析	7.5
2	方式設計	アーキテクチャ設計・評価	7.5
3	詳細設計	形式仕様を使った詳細化	7.5
4	詳細設計	モデル検査を使った詳細化	7.5
5	まとめ	報告会、評価など	7.5

開発テーマ

Lego® Mindsorms® による
ライントレーサ
ETロボコンなど、多くの技術者教育素材として活用されてきた経緯がある。

